

2023年4月30日 [LINE メッセージ](#) 日本キリスト兄弟団 新下関教会

<http://olive.lovepop.jp/LINEsound/2023/20230430.mp3>

廣川和行牧師 ヨハネの福音書 14章 8節～14節

「あなたがたは父を見たのです」

10分 31秒

14:8 ピリポはイエスに言った。「主よ、私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

14:9 イエスは彼に言われた。「ピリポ、こんなに長い間、あなたがたと一緒にいるのに、わたしを知らないのですか。わたしを見た人は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのですか。」

14:10 わたしが父のうちにいて、父がわたしのうちにおられることを、信じていないのですか。わたしがあなたがたに言うことばは、自分から話しているではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざを行っておられるのです。

14:11 わたしが父のうちにいて、父がわたしのうちにおられると、わたしが言うのを信じなさい。信じられないのなら、わざのゆえに信じなさい。

14:12 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしを信じる者は、わたしが行うわざを行い、さらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。

14:13 またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。

14:14 あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。

おはようございます。

あちこちで色とりどりのつつじが咲いていて綺麗です。

先週私は大分県の中津江村という山の中にある宿泊施設に3日間仕事で出かけました。

ひととき新緑の鮮やかさが目にしみました。

朝から夜遅くまで時間刻みの忙しい仕事の合間に、新緑を眺めてほっと一息することができました。

さて今日のヨハネの福音書 14章 8節から 14節は最後の晩餐の席で、

イエス様と弟子たちの話のやり取りが続いています。

弟子のピリポが

「主よ、私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

とイエス様に願い出ました。

弟子たちはそれまで幾度も、

天におられる父なる神様がどのようなお方であるかを、

イエス様が語っておられるのを聞いていました。

それにもかかわらず、

ピリポは主よあなたの言っておられる父なる神様を、

私たちの目で見えるようにしてくださいと願ったのでした。

イエス様と長い間、弟子たちは一緒に過ごしてきたのに、

全く理解していない弟子のピリポに対して、

イエス様はどのように思われたのでしょうか？

イエス様は「わたしを見た人は、父を見たのです。」と答えました。

イエス様を見ることは天の父なる神様を見たことになり、

と言われたのです。

イエス様が天に帰られた後に、聖霊なる神様が送られ、

弟子たちに下って来られることによって、

その時、弟子たちははっきりと

イエス様がどのようなお方であるのかを知るようになるのです。
イエス様と父なる神様とは考えや働きについて一体であり、
イエス様の語る言葉は天の父なる神様から出た言葉と同じであり、
イエス様の行う働きは父なる神様の働きなのです。
イエス様と父なる神様は同じ一人の神様でありながら、
同時に異なる人格のお方なのです。
イエス様はこの地上に人の形をとって来られました。
いつも天の父なる神様に祈り、
神様との親しい交わりをしておられました。
この関係は、父なる神様が上でイエス様が下という
上下関係ではありません。
イエス様は神として、父なる神様と同じなのです。
ピリポが願った父なる神様を実際にこの目で見てみたいという願いは、
人間に共通した願いなのかもしれません。
神様を目で見たいという人間の願望が、
目に見える石や木金などで作った神々を作り出し、
偶像礼拝になっていくのです。
世界中どこにも偶像があり、偶像礼拝が行われています。
いかに人間が目に見える神々を求めているのかが分かります。
神様がいるのなら見たい、神様を知りたい、と願う私たちに対して、
実は神様の方が私たちにご自分を知らせたいと願っておられたのです。
そのために天の父なる神様は、
人間と同じように肉体を持った神のひとり子イエス様をこの世に遣わさ
れました。
イエス様は「わたしを信じる者は、わたしが行うわざを行い、
さらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。」
と語られました。
イエス様はご自分を知らない人や、救い主と信じていない人々に福音を
伝え、神様のことについて教えました。

病気で苦しんでいる人たちを癒され、
悪霊に支配されている人々を悪霊から解放して、
目に見える神様の働きを行われました。
イエス様が天の父なる神様のところへ行かれたから、
聖霊なる神様が弟子たちのもとへ下ってこられ、
はっきりと神様の業を知らせてくださるのです。
イエス様を信じる人はイエス様と同じように働くことができる
とされています。
私たちはいつもイエス様と交わりをして、
イエス様の考えや御心を知ることによって、
イエス様が行う業を行うことができるのです。
イエス様を信じた人々はさらに大きな業を行うことができ
ると言われました。
イエス様の行動された範囲はパレスチナ地域に限定されており、
イエス様が宣教したり教えた人々は一部の例外を除いては
イスラエルの人々でした。
けれども聖霊なる神様によって、
イエス様を信じた人々は福音を知らせるために、
世界中のいろいろな場所に行くことができるようになりました。
そして様々な人々に福音を述べ伝え、教えることができるのです。
イエス様の時よりもはるかに広く多くの人々に
福音を伝えることができるようになったのです。
この大きな神様の業は
日本という地にあって信仰を持った私たちにも及んでいるのです。
イエス様は「わたしは、あなたがたがわたしの名によって求めること
は、何でもそれをしてあげます。」
また繰り返して
「あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わた
しがそれをしてあげます。」と約束されています。

私たちは、霊である神様を目で見たいと願っても見ることはできません。けれども死者の中から復活し、今も生きて働いておられ、信じる者と共におられるイエス様を、信仰によって知ることができます。イエス様を通して天の父なる神様と交わりをすることができるのです。神様を知らなかった者、信じなかった者がイエス様と出会い、聖霊の導きにより信じる者に与えられる救いの恵みにあずかります。また神様に向かって祈ることを知らなかった者が祈ることを知り、祈ることによって、日々イエス様と共に歩む者に変えられていきます。最初は神様が自分の祈りを聞いてくれるのだろうか？と思ったり、辛いことが続いたりすると、神様は本当に自分の祈りを聞いてくれているのだろうか？と不安に思ったり疑ったりすることがあるかもしれません。けれどもイエス様はいつもあなたや私の祈りを聞いておられます。私たちは祈る時にはぜひ願いを叶えてほしいと自分の願望を率直に祈ります。けれども願い通りにならない場合もあります。長く祈ったのに結局叶えられなかったという場合もあるでしょう。私たちが祈るうちに、自分の願いに固執することから離れて、イエス様に願いを委ねるようになります。最終的には自分の願いよりもイエス様の願いが実現するように導かれるのです。私たちは、イエス様、あなたのお考え御心を教えてください。そして御心を知り行うことができる者へと導いてくださいと祈るようになります。私たちの願いは願いとして神様に祈って聞いていただきましょう。そして結果は神様にお任せします。御心にかなった最善の道を用意してくださるイエス様に感謝して、その御心を行う者へと今週も導いていただきましょう。

お祈りをいたします。
ご在天の父なる神様、
あなたの尊い御名を褒め称えます。
私たちの先週の歩みを守り導いてくださったことを
覚えて感謝をいたします。
イエス・キリストは私たちの願いを、また、祈りを聞いてくださいます。
そして御心にかなった最善の答えを私たちに与えてくださいます。
そのイエス様に信頼して共に歩みたいと願っています。
兄弟姉妹の今週の歩みを豊かに祝福してください。
病を得ている方々を癒し、健やかにしてください。
試練の中にある方々を励まし、支えてください。
主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊との親しき交わりが、
会衆一人一人の上に、今も後もとこしえまでも力強くあらんことを。
アーメン。



Steve Smith & Phyllis Smith 牧師夫妻
(Upland Brethren in Christ Church 2023年3月に引退)